

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Liposomal Doxorubicin【40 mg/m²】 + Bevacizumab 療法

4週毎 コース予定

疾患名 卵巣癌

主治医

指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

		day1
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓
ドキシル(ドキソルビシン・リポソーム)	40 mg/m ²	↓

【注意】 *ドキソルビシン・リポソームは5%ブドウ糖で希釈すること。投与量が90 mg未満の場合は250 mLで希釈し、90 mg以上の場合は500 mLで希釈すること。

*ドキソルビシン・リポソームの投与速度は1 mg/分を超えないこと。

*ドキソルビシン・リポソームの総投与量が500 mg/m²を超えると、心筋障害によるうっ血性心不全が生じる可能性があるので注意すること。

*ベバシズマブの点滴時間は初回投与時90分かけて点滴静注、2回目の投与は60分で行って良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30分投与でも良い。

*ベバシズマブ併用化学療法終了後、ベバシズマブ単独投与を継続すること。

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

day 1

- | | | |
|---|----------------------------|----------------------|
| ① | 生食 500 mLで血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② | ベバシズマブ + 生食 適量(全量 100 mL) | 点滴静注 90~30分 |
| ③ | デキサメタゾン注 6.6 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ④ | ドキシル + 5%ブドウ糖 250 mL | 点滴静注 120分(125 mL/時間) |

(ドキシルの投与量が90 mg以上の場合は、5%ブドウ糖500 mLを使用すること)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシル 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						